

C B D C（中央銀行デジタル通貨）に関する関係府省庁・日本銀行連絡会議幹事会（第5回）
議事要旨

1. 日 時：令和7年3月11日（火）10：00～11：50

2. 場 所：財務省本庁舎4階第3特別会議室

3. 出席者：

【座 長】

津田 夏樹 財務省 理財局国庫課長

【構成員】

田中 智也 内閣府 政策統括官（経済財政政策担当）付参事官（経済対策・金融担当）付参事官補佐（※）

福田 誠 公正取引委員会 事務総局経済取引局調整課長

服部 準 警察庁 刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策第一課長

三浦 知宏 金融庁 企画市場局総務課信用制度参事官

西川 功 消費者庁 消費者政策課政策企画専門官（※）

若月 一泰 デジタル庁 参事官（戦略・組織担当）

中川 航輔 総務省 大臣官房企画課課長補佐（※）

中野 裕登 総務省 情報流通行政局郵政行政部企画課貯金保険室課長補佐（※）

竹下 慶 法務省 民事局参事官（※）

猪股 正貴 法務省 刑事局参事官（※）

鶴野 浩之 財務省 国際局国際機構課企画官

福井 尚 厚生労働省 雇用環境・均等局勤労者生活課労働金庫業務室長

安田 知己 農林水産省 経営局金融調整課組合金融調査官（※）

平林 孝之 経済産業省 商務・サービスグループキャッシュレス推進室室長

清水 茂 日本銀行 決済機構局参事役

【オブザーバー】

芦田 光暁 個人情報保護委員会 事務局企画官

（※）は代理出席

4. 議 事：

C B D Cにおけるデータの扱いについて

（1）データの扱いに関するケーススタディ

（2）利便性向上のためのデータの扱いに関する検討について

5. 議事要旨：

- 開会に際し、座長より挨拶が行われた。
 - 議事（１）「データの扱いに関するケーススタディ」において、資料に沿って日本銀行より説明し、その後質疑応答を行った。
 - 議事（２）「利便性向上のためのデータの扱いに関する検討について」において、資料に沿って事務局・警察庁・金融庁・個人情報保護委員会事務局より説明し、その後質疑応答を行った。
 - 第５回幹事会での議論を踏まえ、座長より、以下のとおり議論のまとめを行った。
 - ・ 議事（１）「データの扱いに関するケーススタディ」の議論では、具体的な各種データの保有・伝達方法については継続的な検討事項であることを前提として、システム配置と仲介機関の役割を仮定し、基本的な利用場面を例示して現時点で考え得るフローと扱うデータ項目についてケーススタディを行ったところ、それぞれの場面におけるデータの流れや管理方法が確認された。
 - ・ 議事（２）「利便性向上のためのデータの扱いに関する検討について」の議論では、ＣＢＤＣの利便性の向上、公的要請への対応、データの活用などに関して、統合的なデータ活用によってＣＢＤＣの価値向上、公益増進がかなう事例も想定される中で、①エイリアス機能の提供、②ＡＭＬ／ＣＦＴ対応の効率化、③統計等へのデータの利活用などの場面において、想定される概形と活用可能性を確認したところ、それぞれの場面でのデータの組み合わせ、データ利用の際の注意点や現時点における個人情報保護法上の留意点の例が確認された。
 - ・ 今後に関しては、
 - （１）引き続き、日本銀行による個人情報の扱いを最小限とするという前提のもと、仲介機関におけるデータの保有・伝達方法について継続的に検討を行う必要があること、
 - （２）民間企業をはじめとする他主体のサポート・補助や、共同データベースの必要性の確認など、ＣＢＤＣエコシステム全体で取り組まれるべきことについては、個人情報保護制度の見直しを注視しながら、統合的なデータを扱うシステムの全体像や必要な機能などを整理したうえで、今後、制度やデータ管理の担い手のあり方を含めて検討を深めていく必要があること
- が確認された。